

まんさく

正月号320号

社会福祉法人 光寿会
まんさく編集委員会
和賀郡西和賀町湯本30-76-1
TEL 0197-84-2526
題字 元理事長 太田 祖 電



ミャンマーから来たユヤモーさん、がんばっています♪ [関連記事：5頁]

光寿苑に入職して半年が経ちました。若さと持ち前の柔和な笑顔でお年寄りたちからも人気のユヤモーさん。素直に物事を捉えて、素直に言葉にできる性格は、光寿苑に光をもたらしてくれます☆彡

320号『まんさく』もくじ

☆2頁★

*上半期ひやりはっと報告

☆3頁★

*災害を捉える

☆4頁★

*地域密着型事業 *寄贈・面会・外出等
*「共生の場」へようこそ♪

☆5頁★

*ユヤモーさんに聴いてみた♪

*お年寄りを護る会 *防災総合訓練

☆6頁★

*「光寿会の日々」(4コマ漫画)

*「自然法爾」(おきさんのお話) *「おわりに」

【掲載が遅くなってしまいましたが、令和7年度上半期のひやりはっと報告となります。】

【ひやりはっと及び事故まとめ】(令和7年度上半期)

合計 『202件』
前年度上半期比 『60件増』

場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
居室	15	18	16	30	37	26	142
浴室	1		5	6		3	15
廊下	1	2		2	4	5	14
湯の町茶の	5			4	1	1	11
トイレ	1	1		3	1		6
ホール		2			1		3
ベッド				2	1		3
こまち広場	1				2		3
階段	1						1
エレベータ	1						1
居室前					1		1
大通り居所						1	1
配膳室		1					1
合計	26	24	21	47	48	36	202

事故内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
外傷	8	10	11	31	29	20	109
転倒・転落	12	7	5	7	10	10	51
与薬	4	2	1	4	2	2	15
尿カテ			1	5	2		8
誤嚥・誤飲		1	1		2		4
管理ミス	1	1	1			1	4
異食		1	1		1		3
紛失・破損					1	2	3
見守リエラ		2					2
脱苑	1						1
熱傷						1	1
自傷					1		1
合計	26	24	21	47	48	36	202

※4件の介護事故を赤色で表記

所見	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
内出血	6	8	7	25	25	16	87
表皮剥離			2	2	2	2	8
打撲	3		1				4
切り傷		2	1			1	4
擦り傷	1			2		1	4
搔き傷			1	1		1	3
裂傷		1			1	1	3
爪外傷				1	1		2
窒息					1		1
無し	16	13	9(1)	16	18	14	86
合計	26	24	21	47	48	36	202

事故発生時間帯	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
06:00 ~ 08:00	2	2	1	3	5	4	17
08:00 ~ 12:00	6	6	7	12	15	8	54
12:00 ~ 18:00	10	8	11	21	15	11	76
18:00 ~ 22:00	6	5	1	6	5	9	32
22:00 ~ 06:00	2	3	1	5	8	4	23
合計	26	24	21	47	48	36	202

要介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
要介護Ⅱ		1		1			2
要介護Ⅲ	10	12	8	18	13	7	68
要介護Ⅳ	9	4	5	12	18	18	66
要介護Ⅴ	7	7	8	16	17	11	66
合計	26	24	21	47	48	36	202

上半期ひやりはっと「202件」の発生は、少ない件数で抑えることのできた昨年度同期と比較して、**60件の大幅増**となっている。内容の内訳としては外傷と転倒・転落が大半を占め、同一のお年寄りに多発する傾向が見て取れる。「内出血」87件の内63件が6人のお年寄りに集中しており、自らの動作の中で生じたであろう内出血、出血傾向の強いお年寄り、寝たきり故に介助中に生じたであろう内出血等々、個々人により発生要因も異なっていたが、原因が特定しづらく、有効な再発防止策が講じられずに経過したケースも散見された。「転倒・転落」は過去5年間の同期比で最も多い数字となっているが、見守り機器による再発防止のほか、心理的背景要因の検討や転ばないための身体機能の維持等、多角的に取り組んでいく必要がある。

介護事故4件の発生も平年に比べると多い数値であり、職員に起因するケースも見られたため、再発防止策については要因ごとに多職種で検討にあたることとし、施設全体で体制を構築できるよう引き続き努めていく。

想...

災害を捉える 石川県七尾市から発信⑬

『能登から被災地だより⑬』竹原了珠氏



今回は『苦しかった事にしがみつかなかなくてもよい生き方』の問いを賜ります。

新しい一年は、久しぶりに雪の元旦で始まりました。

朝の時からの本堂での修正会に参詣したのは、同居の兄と私の二人だけでした。雪の気配の中に正信偈が静かに広がる、とても贅沢な時間でした。

どのようにな一年を迎えるのか。実はすでに昨年12月の中頃に与えられていたのだと思います。その年の締めくくりとなった、他寺での出張法話の折のことでした。

災害に見舞われて以降、法話の依頼は、ほとんどがその体験についてのものでした。年末のこの機会も、災害を通して見えた世界や出来事、そこから自分は何を感じとったのか。それをどう語ればいいのか。と考えるながら、愛知県のお寺へ向かいました。午前と午後、それぞれ二席、計四席のお話のご依頼でした。

最初の一席目では、能登の災害当時の状況と、今も続く先の見えない苦しさについてお話ししました。10分程の休憩の合間に、一人の参詣者の方が控室を訪ねてこられました。その方は、そのお寺の然代だと名乗り、落ちついて、でも唇を少し震わ

せながら話し始めました。

この地域は、60数年前の伊勢湾台風で、愛知県が最も被害の大きかった場所だという事でした。水はけが悪く、台風の後、3ヶ月もの間、水が引かぬか。た事、避難は船で軒ノ軒回りながら行われ、その途中で多くの遺体が流されていくのを見た事など、お話し下さいました。

その後、遠くの学校の体育館で数ヶ月の避難生活を送り、水が引いて地元に戻ってからも苦勞が続いた事がランティアという言葉もなかった時代、すべてを自分たちの手でやるしかなかった事も語らっていました。仕切りのない体育館での避難生活に比べると、私の話した仮設住宅の話は、軽く聞こえたのかも知れません。

先生の講話の後で、「自分たちはもっとひどい目に遭ってきた。俺たちの苦しさは、こんなものじゃないか。L」と言う人が何人もいたんです。失礼とは思いましたが、この土地には、そういう体験をしてきた人ばかりだという事を、先生はご存じないのではないかと思います。そう言われて私は、

配慮が足りず、申し訳ありません

と答えてしました。

自分の話し方が十分ではなかったのだと反省しましたが、それ以上に強く心に残った事がありました。

60年以上経ってもなお、自分たちの苦しみはそんなものではないかと語られる、その言葉の重さでした。苦しみが過去の出来事として終わらず、その人自身であり続け、あるいは犠牲者との結びつきとして、今も生きている。という事なのだと思えます。

これは、能登がこれから直面していく問題でもあります。

そしてきっと、これから先、別の災害を目にした時、私自分も同じように感じるのだらうと思います。

しかし、いつか、自分の苦しみをきちんと成仏させてあげなければならぬのだと思います。仲間意識に利用されたり、誰かの慢心やランティエーの拠り所となったりする事から、自由にしてあげる必要があるのだと思います。

苦しかった事にしがみつかなかなくてもよい生き方を、少しずつ始めていきたいと感じています。

続

今月の登録者の方々
14名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

1年の始まりはおどかさから(笑)「ひなたぼっこの日常」



2025/12/30 09:41



2025/12/21 08:33

【左】黄色い声援を受けながら年末の餅つき♪

【右2枚】お茶会『しめ飾りづくり』

おかげさまでした

★光寿苑 ☆ひなたぼっこ、湖畔の宿

寄附

- ★ 高橋 祐一 様 [湯田]
- ★ 高橋 保 様 [槻沢]
- ★ 熊谷 富夫 様 [湯本]

寄贈

- ★ 匿名 様 [西和賀町]
- ☆ 高橋 ちづ子 様 [下前]
- ☆ 梨子下 深幸 様 [下前]
- ☆ 石川 彰 様 [盛岡市]
- ☆ 高橋 智也 様 [埼玉県]
- ☆ 山口 要子 様 [奈良県]

面会・外出

- 【12月1日～31日】
- 【★☆☆対面面会、※オンライン】
- ★ 延べ137名 (対象入居者40名)
- ※ 延べ2名 (対象入居者1名)
- ☆ 延べ27名 (対象入居者6名)
- 【自宅外出・外泊】
- ★ 延5名(外出)、☆ 延2名(外泊)

友愛訪問等

- 【12月13日 27日 機能訓練ボランティア】
- ★ 伊藤敦史 先生 [秋田県]
- 【12月15日 光寿苑のお年寄りを護る会】
- ★ 苦情解決委員 …1名 相談員 …3名
- 【12月13日、31日 水槽メンテナンス】
- ☆ 石川 彰 様 [盛岡市]



光寿会へのご支援



「共生の場」へようこそ!

～ひなたぼっこ利用から光寿苑施設入居の運びとなりました～

阿部貞子さん

*西和賀町

西和賀に住み、半年働いてきた時間の中で、今感じている事を聞いてみました。



〔聴き手〕
高橋 慎リ

ミヤモトさんに聞いてみた♪

- ① 介護の仕事をやってみてどうですか？
- ② 利用者の皆さん、仲良くしてくれて楽しいです。でも、Aさんの訛りがすごくて会話できないです(苦笑)。
- ③ 西和賀に来て良い事や大変な所はありますか？
- ④ 山が好き！山がいっぱいあって楽しい♪薬王堂が出来て嬉しい♪すごく便利！あとダイソーが欲しいです。
- ⑤ ミヤンマーと日本の大きな違いは何ですか？
- ⑥ 日本の人はルールをちゃんと守る。ミヤンマー人はあまりルールを守らない(苦笑)。日本はゴミの分別がすごい。ミヤンマーは分別しない。あとミヤンマーは雪が降らないから雪が楽しみ♡
- ⑦ 今、やりたい事は？
- ⑧ 旅行したいです。東京とか。日本の色々な景色を観たいです。

- ⑨ 夢や目標はありますか？
- ⑩ 夢はミヤンマーで介護施設を建てること。そしてお金を両親にいっぱい渡したい。家族を支えたいです。目標は、日本で5年は働きたいです。
- ⑪ 趣味はありますか？
- ⑫ 歌を歌うのが好き♡あと料理も好き♡なので料理している時に歌っています♡
- ⑬ 最近はお米が高いので、節約のために麺やおやつを食べています。おやつはいっぱい食べちゃうから、太っちゃいます(笑)。
- ⑭ 今、一番欲しいものは？
- ⑮ 今、小さいテーブルとゴミ箱が欲しいです。
- ⑯ 謙虚過ぎるので、もう一度聴きます！今、欲しいもの、例えば車とか？家とか？
- ⑰ 運転免許が欲しいです！車がお出掛けしたいです！
- ⑱ とても楽しくインタビューできました。どうもありがとうございました。
- ⑲ ありがとうございます！

光寿苑防災総合訓練



12月17日

出火場所が突然知らされてからの訓練は、緊張感があります！



委員の方々が担当のユニットに訪問する形での拝聴を5年ぶりに実施。暮らしている空間での聴き取りは、心を、時間を豊かにするものですね。



光寿苑のお年寄りを護る会

12月15日

